

掲示板

大阪市立自然史博物館第 49 回特別展「きのこ！キノコ！ 木の子！～きのこから眺める 自然と暮らし～」

佐久間大輔

(大阪市立自然史博物館)

この特別展では、きのこを初めて学ぶ人向けにもフリーズドライ標本などを通じて、きのこの観察ポイントをわかりやすく伝え、川村清一、今関六也、本郷次雄といった日本の菌類図鑑の流れが一望できる菌類図譜、南方熊楠や安田篤といった先人の残した資料に見る研究者とアマチュアの交流など、きのこを通してじっくり学び、楽しみ、鑑賞できる特別展になります。同時に、アマチュア向けきのこ研究の入門書となる解説書も刊行します。

会期：平成 30 年 7 月 21 日（土）～ 10 月 21 日（日）

※ 開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：月曜日（ただし月曜日が休日の場合はその翌日が休館。8 月 13 日は開館）

会場：大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター 2 階）

観覧料：大人 500 円、高校生・大学生 300 円

※ 特別展会期中に何度でも入場できる期間内特別展フリーパスは、大人 1,000 円、高校生・大学生 600 円

※ 本館（常設展）とのセット券は、大人 700 円、高校生・大学生 400 円

※ 中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者 1 名を含む）、大阪市内在住の 65 歳以上の方は無料（要証明）。30 人以上の団体割引あり

※ 本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）

後援：日本菌学会、日本きのこ学会、関西菌類談話会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会などを予定

協力：国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館

講演会など様々な催し物が開催されます。申し込み不要です。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

学会記事

理事会報告

日本菌学会 2017 年度第 4 回理事会 議事録

日時：2018 年 3 月 17 日 12:00～17:00

場所：東京理科大学葛飾キャンパス・研究棟 11 階生物工学科ゼミ室 1

出席者（順不同、敬称略）：会長 山岡裕一、理事 太田祐子（企画・普及）、岡根 泉（庶務）、清水公德（庶務）、田中千尋（企画・普及）、玉井 裕（日本菌学会会報編集責任者）、出川洋介（国際集会）、中島千晴（会計）、名部みち代（国内集会）、服部 力（編集委員長）、山田明義（国内集会）、幹事 喜友名朝彦（庶務）。

委任状提出：副会長 矢口貴志

会議成立の確認：理事会の開催に先立ち、会長、副会長、理事 10 名の出席（委任状含む）により、理事会が成立したことを確認した。

会長挨拶：理事会の開催にあたり、山岡会長より挨拶があった。

報告事項

資料をもとに以下の事項の報告があり、承認された。

1. 庶務関係（岡根・清水理事）

1) 会員動向：2018 年 2 月現在、正会員 627 名（国内 585、国外 42）、学生会員 155 名（国内 137・国外 18）、英文誌購読会員 32 名（全て国外）、終身会員 140 名（全て国内）、名誉会員 24 名（国内 21、国外 3）、功労会員 2 名、賛助会員 15 社、会員総数 995 名。

2) メール会議の開催状況：以下の通りメール会議を行った。

第 12 回（2018 年 1 月 20～23 日）授賞者および授賞論文選考委員会からの答申について（原案承認）

3) 持ち回り総会の開催

第 1 回（2018 年 1 月 23～2 月 5 日）授賞候補者（奨励賞）および授賞候補論文選考について審議の結果、以下の通り決定した。

・日本菌学会奨励賞：糟谷大河氏（千葉科学大学）

・日本菌学会平塚賞：Teramoto et al, Mycoscience vol. 57, pp 127-135, 2016

4) 法人化関係

新しい学会ホームページ（HP）から公開予定の各種規則の修正作業を行うと同時に、日菌報 59 巻 2 号にも修正した各種規則を掲載する予定であり、規則の修正に当たっては、総会での承認を得ることが確認された。

2. 国内集会関係（山田・名部理事）

1) 日本菌学会第 61 回大会（環境微生物系学会合同大会）

2017) 報告

配布資料を元に会計報告が行われ、大会会計全体の収支として、黒字であったことが報告された。また、合同大会ホームページ運営、高校生ポスター発表実施状況、学会託児関係、優秀ポスター賞関連およびポスター会場についての総括について報告があった。

2) 日本菌学会第 62 回大会(信州)の準備状況: タイムテーブル案(概要)について説明された。また、事前登録者数 197 名、登録演題数 116 件(受賞講演 1 件、日韓シンポ 5 件、一般口頭発表 60 件、一般ポスター発表 45 件、中高生ポスター発表 5 件)であることが報告された。

3) 2018 年度日本菌学会菌類観察会(島根フォーレ;共催: 島根県立三瓶自然館サヒメル, 島根県中山間地域研究センター)の準備状況: 会期: 2018 年 9 月 22 日(土)~24 日(月・祝); 会場: 島根県大田市, 三瓶山周辺; 実行委員長: 長澤栄史氏(菌草研究所); 会告をニューズレター(2018 年 3 月)に投稿したこと, 三瓶山自然林における菌類採集の許可申請手続きを進めていることが報告された。

3. 国際集会関係(出川理事)

1) 日本菌学会第 62 回大会(信州)における日韓合同シンポジウムの開催(案)

会期: 2018 年 5 月 26 日 13 時~15 時 30 分。プログラムについて(座長および一部プログラムについては検討中)および韓国側から参加予定者 39 名(ポスター発表 15 件)であることが報告された。

4. 企画・普及関係(太田・田中理事)

1) 新 HP のリニューアルについて: 以下の通り報告された。

- ・2018 年 3 月 10 日までに理事会メンバーからサンプルページに関して意見集約, 勝美印刷へ修正依頼を行った。
- ・同年 3 月 16 日に勝美印刷と最終打ち合わせ予定である(細矢委員長, 太田)。
- ・コンテンツを追加・修正して, 同年 4 月 2 日から公開予定である。

2) HP, SNS などの状況について: 菌類関連講座, 高校生ポスターに関するお知らせなどを HP に掲載し, ML, ツイッターで配信した。科研費のロゴを HP に掲載した。

3) ニュースレターについて: ニュースレターの発行は順調であり, 現在 NL2018-2(3 月号)の編集作業を進めている。

5. 編集委員会関係(服部編集委員長・理事, 玉井理事)

1) 学会誌の発行状況

1-1) Mycoscience 誌について以下の通り報告された。

- ・59 巻(2018)(契約頁数 420)~59(3)まで頁数が確定済。

・59(4)を ISAM 特集号にする予定である(受理済の掲載予定論文は pp. 64 程度予定)。

1-2) 日本菌学会会報(以下, 日菌報)について以下の通り報告された。

・58 巻 1 号, 2 号まで出版済。

・2017 年度の投稿数は 8 報(掲載済 5, 却下 1, 審査中 2)

2) 学会誌の投稿状況

2-1) Mycoscience: 2018 年 1 月~3 月 10 日の間の投稿論文は 40 報強, 本年 2 月に EVISE 導入後ペースが落ちている。

2-2) 日菌報: 2017 年(1 月 1 日~12 月 20 日)の投稿数は 6 報(掲載済 5, 審査中 1)。

3) 投稿審査システム EVISE への移行: 以下の通り報告された。

2018 年 2 月 21 日より EVISE に移行した。

- ・投稿規定アップデートの遅れや, 投稿料支払い意思確認過程の未整備によりかなり混乱したが, 投稿規定のアップデートは完了, システムについても問題が解消しつつある。
- ・システムの変更により, 一部編集委員や投稿者に混乱を招き, 対応に努めている。

4) ISAM 特集号について: 以下の通り報告された。

- ・59 巻 4 号を ISAM 特集号にする予定。受理 8 報。他のほとんどは修正稿の投稿が長時間滞っており, 取り下げの可能性が高いと判断される。なお, 修正稿が返ってこないものについては, 却下する予定である。
- ・表紙デザイン, 巻頭言(入れることに決定), 論文の順序については, 担当責任編集者に検討を依頼した。

5) プレプリント公開に関しての投稿規定の追加: プレプリントについて, 二重投稿などの問題となる事前掲載には該当しないことを明記することについてエルゼビア社から打診があり, 編集委員会での審議を経て了承したことが報告された。

6) オープンアクセス補助(フィンランド)に関するエルゼビア社からの提案: エルゼビア社とフィンランドのオープンアクセス推進コンソーシアムとの間で, コンソーシアム側が OA 費用(投稿料とは関係ない)の 50%を負担するプログラムが開始される。これについて, Mycoscience もその対象とすることが提案され, 本件は菌学会に直接影響する問題ではないとのことから, 編集委員会での審議を経て了承したことが報告された。

7) 物故名誉会員の追悼文: Lichtwardt 名誉会員の逝去に伴う追悼文について, 関連の深い研究者に執筆を依頼することとした。

8) 編集経費: Mycoscience の編集に掛かる費用は発生していないこと, 日本菌学会報についてはバックナンバー 56 巻~50 巻 7 年間(14 号分)を勝美印刷に J-STAGE

公開用分として編集作業を依頼したことが報告された。

6. 会計関係 (中島理事)

- 1) 2017 年度決算案および 2018 年度予算案 : 2017 年度決算案 (一般会計および特別会計) および 2018 年度予算案 (同) について、資料を元に説明された。

審議事項

以下について各担当者から提案され審議された。

1. 庶務関係 (岡根・清水理事)

- 1) 名誉会員候補者推挙について : 資料をもとに、2018 年度名誉会員候補者について名誉会員選考委員会から答申があったことが報告され、審議の結果、持ち回り総会に諮ることとした。

2. 国内集会関係 (山田・名部理事)

- 1) アマチュア展示について : アマチュア展示参加者にも適切な参加登録および参加費の支払いを求めることを確認した。

3. 国際集会関係 (出川理事)

- 1) 若手会員に対する渡航支援について : IMC11 (プエルトリコ) に参加予定の若手会員に対して、早急に応募案内を出すことが提案され、承認された。また、渡航支援対象の国際学会は IMC や AMC を優先とすることが確認された。
- 2) 日本 - 台湾合同企画について : 合同企画案として、内容 (国際ワークショップ開催等) および予算について再度検討することが提案され、承認された。

4. 企画・普及関係 (田中理事)

- 1) 来年度 HP 管理維持費の支出について
 - ・来年度 HP 管理維持費の支出について説明があり、審議の結果、承認された。
 - ・ホームページの英文版は作成していないため、次年度作成作業を引き続き行うことが提案され、承認された。
- 2) 高校生ポスター発表副賞およびミニ観察会の賞について : 来年度の大会での高校生ポスター発表副賞として、また、菌類観察会後のミニ観察会 (菌学会協力) の賞として、「驚きの菌類」を教育普及目的で贈呈することについて、審議の結果、承認された。
- 3) 会長名で「修了証」などを出すことの可否について : 審議の結果、承認された。

5. 編集委員会関係 (服部編集委員長・理事, 玉井理事)

- 1) クラリベイト・アナリティクス社の BIOSIS 収録について : 海外発信に繋がることが期待されることから、BIOSIS にロック解除した日菌報の論文 PDF ファイルを送る方向で承認された。
- 2) 日菌報論文の責任著者 : 投稿規定に責任著者に関する項目が存在しないが、責任著者を明記することが承認された。

- 3) 日菌報の PDF 買取り : PDF の買取りは長期間続くことが説明され、年間 10 万円ぐらいで数を見積もることが承認された。

6. その他 (山岡会長)

- 1) 日本微生物学連盟主催フォーラム・シンポジウム : 2017 ~ 2018 年度フォーラムについてテーマおよび内容に関して、公募中であることが資料を元に説明された。
- 2) AMC2019 開催準備 : AMC2019 準備委員会の体制案および AMC2019 の大会ホームページレイアウト案について説明され、承認された。
- 3) 分類学会連合について : 菌学会からは科博のメンバーが中心に参加しているが、細矢剛氏が 2018, 2019 年度の代表になることが報告された

以上